

Ⅱ．高齢者に係る地域アセスメントの 手法について

1

1. 地域アセスメントの意義

地域支援に必要な取り組みを考えるために、社会資源と地域の生活支援ニーズを把握する

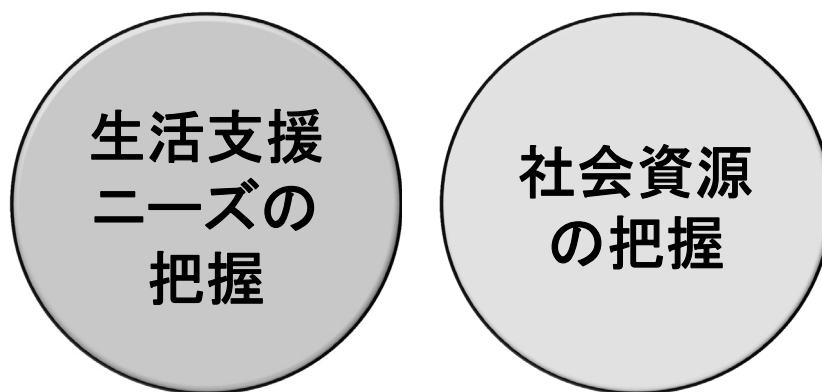
地域特性の把握により、地域住民等へのアプローチ方法を考える

地域ニーズの把握により、必要なサービスを考える

社会資源の把握により、関係者のネットワークづくりやマッチングにつなげる。

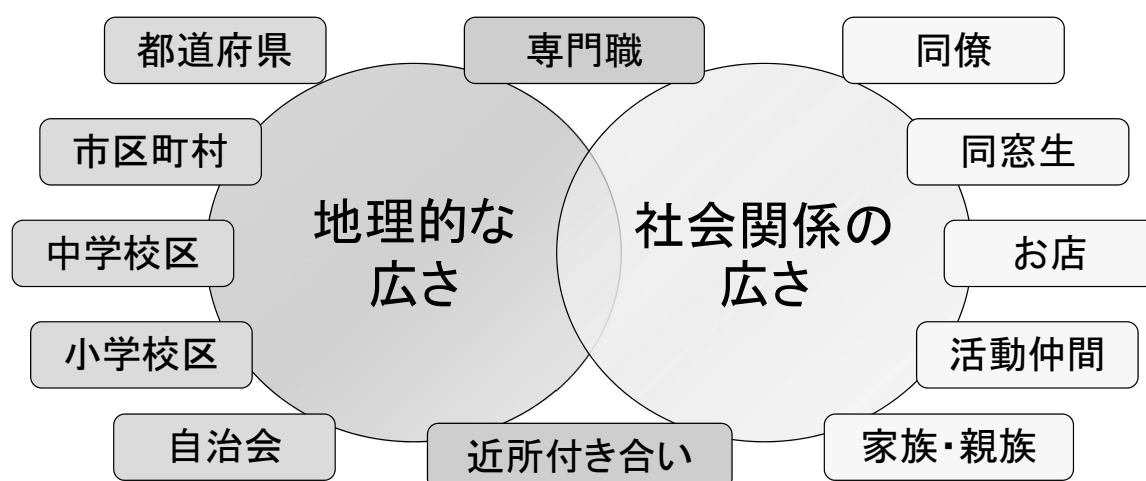
2

2. 地域アセスメントの方法



3

地域の捉え方



住民の生活圏と専門職の担当圏域は同一ではない

2-(1) 地域の社会資源の把握

- ① 行政機関
- ② 保健・医療・福祉関連の機関・団体
- ③ 地縁組織
- ④ ボランティアグループ・NPO・当事者団体
- ⑤ 中間支援組織
- ⑥ 生活関連産業

5

2-(2) 地域全体の生活ニーズ把握

- ① 個別事例の収集・分析
- ② 行政資料の活用
- ③ アンケート調査ヒアリング調査
- ④ 戸別訪問
- ⑤ 住民座談会

6

3. 地域アセスメントの留意点

(1) 地域連携に生かす地域アセスメント

～連絡先の把握・顔と名前と業務の分かる関係性～

(2) 地域の力を高める支援に生かす地域アセスメント

～地域支援方策の検討・個別課題を地域課題へ転換～

(3) 地域アセスメントの地理的範囲

～担当圏域で生活する人々の生活範囲～

(4) 地域アセスメントの記録

～組織として地域アセスメント情報を引き継ぐ～

(5) 地域アセスメントを通じた地域力向上

～地域アセスメントプロセスの意図的活用～

7

3－(2) 地域支援方策の検討

地域のネットワーク作り

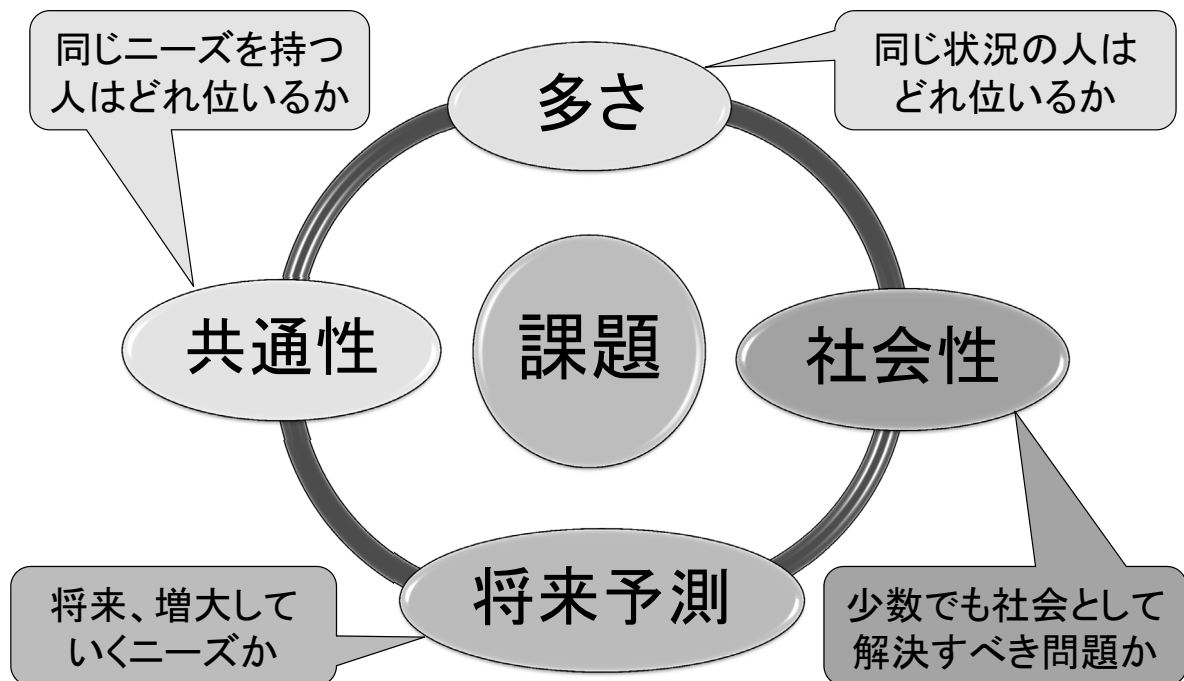
新たなサービス開発

住民活動の支援

福祉教育

担い手の発掘・養成

3-(2) 個別課題を地域課題へ 転換する4つの視点



地域アセスメントをどう教えるか

演習例①

- 事前に地域アセスメントシートを送付
- 地域概況と社会資源を調べた上で研修に参加
- グループ討議で地域の力や課題について話し合う

地域アセスメントをどう教えるか

演習例②

- 高齢者の生活ニーズ（買い物・通院・ゴミ出し・掃除等）が含まれた簡単な個別事例を用意
- 同様なニーズを持つ人々の状況を把握するために、どんな調査を行う必要があるか話し合う

11

指導者養成研修ディスカッション

社会資源把握演習シートを活用

高齢者の生活を支えるための
社会資源の現状や
社会資源の把握方法について
グループ内で情報交換しましょう。

12